

玉川宣夫 三代展

玉川宣夫

Norio Tamagawa

玉川達士

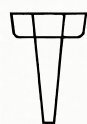
Tatsushi Tamagawa

玉川佳太

Keita Tamagawa

THREE GENERATIONS

An Exhibition of Artists



燕市産業史料館

TSUBAME INDUSTRIAL MUSEUM

2026 4.21 tue - 5.24 sun

□会場:燕市産業史料館 別館 □開館時間:午前9時~午後4時30分

□主催:燕市 □協力:玉川堂 掲載作品:玉川宣夫「木目金花瓶」2016年制作 第63回日本伝統工芸展出展



2026 4.21 tue
- 5.24 sun

三代展 玉川宣夫

THREE GENERATIONS
An Exhibition of Artists

たまがわのりお
玉川宣夫氏は燕を代表する金工作家で、200年以上
ついき どうき
続く鉋起銅器の技術を引き継ぐとともに、木目金技法
の第一人者です。木目金は鍛金技術の中でも難易度
が高い技法の1つですが、その技法の研究・普及に尽力
し、高い技術が認められ、2010(平成22)年に重要
無形文化財保持者「鍛金」(人間国宝)、燕市の名誉
市民に認定されました。

本展では、玉川宣夫氏を象徴する木目金作品を
はじめ、鍛金作品を一堂に展示します。また、親子三代
展として、その技術を継承し、現在精力的に制作活動
を行っているたまがわたつし たまがわけいた
玉川達士氏と玉川佳太氏の作品も紹介
します。



【木目金】とは

異なる数種類の金属板
を何十枚も層状に重ね、
ようちやく
銻着して金属塊を板状
に延ばし、表面を削って
模様を出した後に再び
延ばしていくという技法です。このときにできる斑紋模様が
木目のように見えることから、「木目金」と呼ばれます。

◀玉川宣夫「木目金花瓶」2018年制作 第65回日本伝統工芸展出展



たまがわのりお
玉川宣夫



たまがわたつし
玉川達士



たまがわけいた
玉川佳太

Norio Tamagawa

1942 新潟県田下田村(現三条市)生まれ
1959 秋田市立工芸学校卒業 玉川堂入社
1963 上京し関谷四郎(重要無形文化財鍛金保持者)に師事
1965 玉川堂再就職
1996 玉川堂退社 独立
2002 正倉院宝物「銀薫炉」の復元に携わる
紫綬褒章受章
2010 重要無形文化財保持者「鍛金」認定 燕市名誉市民
2012 旭日小綬章受章
現在 日本工芸会 正会員・参与

Tatsushi Tamagawa

1970 新潟県燕市生まれ
1988 新潟県立燕工業高等学校卒業 玉川堂入社
2002 玉川宣夫に師事 木目金技法を修得
現在 日本工芸会 正会員 日本伝統工芸会東日本支部新潟
研究会所属 伝統工芸士 県央マイスター 玉川堂にて鍛金師

Keita Tamagawa

1994 新潟県燕市生まれ
2013 新潟県立巻高等学校卒業 玉川堂入社
現在 玉川堂にて鍛金師

燕の産業の起源を知る。

燕市産業史料館 [常設展]

燕市は江戸時代から続く金属加工産業の集散地として知られて
います。その産業の起源を分かり易く紹介しております。



起源を紐解く【本館】

江戸時代から続く鉋起銅器、ヤスリ、煙管、彫金といった伝統的
金属工芸技術について、製作工程や作業場の復元の展示を
通して紹介しています。



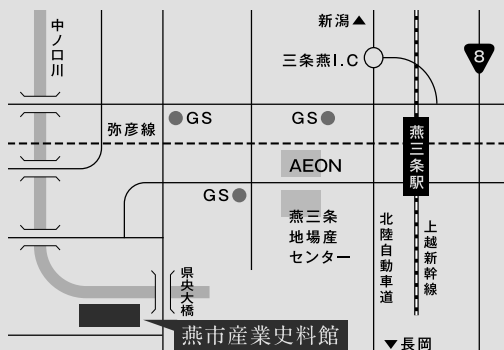
歴史を知る【新館】

明治から始まる燕の金属洋食器の歴史や金属ハウスウェア
などの展示を通して、現在に至る金属産業の変遷をたどること
ができます。



技術に触れる【体験工房館】

様々な体験メニューでお子様から大人の方まで楽しんでいただ
けます。作った作品は持ち帰ってご使用いただけます。



入館料 大人400円、小・中・高校生100円
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

燕市
産業史料館
TSUBAME
INDUSTRIAL MUSEUM

〒959-1263 新潟県燕市大曲4330-1
TEL 0256-63-7666

<https://tim.securesite.jp>



企画展関連イベント【作品解説会】

日時 5月10日(日) 午後2時～午後3時

解説者 玉川宣夫、玉川達士、玉川佳太

会場 別館 参加費 無料(入館料別途必要)



◀イベント詳細・
その他企画展に
関する情報は
コチラ